

広報

しいば



近づく春の足音
梅の開花始まる（春岩尾：1月28日撮影）



未来に向かって新たな第一歩

平成19年 椎葉村成人式

1月4日、村開発センターで20歳の門出を祝う成人式が行われました。今年の新成人は62人（男性31人・女性31人）。式典では椎葉晃充村長から新成人代表の松岡哲寛さん（下松尾）、椎葉理恵さん（本郷）に成人証書と記念品が、さらに村選挙管理委員会からも記念品が手渡されるなど、節目となる大人としての新たなスタートを祝福しました。

また、新成人の山中寿充さん（尾田山中）が新有権者として意



見発表を行ったほか、両腕に障害のあるサリドマイド児として生まれ、大ヒットした映画「典子は、今」に主演した白井のり子氏（熊本市在住）が記念講演。新成人に向かって「今を大切に、懸命に生きてほしい」とエールを送りました。

出席した本村の新成人は、お祝いに駆けつけた保護者や久し振りに再会した友人らと喜び合いながらも、終始大人の自覚を持った真剣な姿勢で式に臨んでいました。



祝 椎葉村 成人式

椎葉村・椎葉村教育委員会



新有権者意見発表

「二十歳を迎え

思うこと」

山中寿充

(尾田山中)



私は日向高校を卒業後、地元椎葉村に帰り、農業に従事しています。山中スローライフ農園として椎茸栽培を専門に経営しています。私が幼い頃から父は、基盤整備やクヌギ山の拡大を行い、私のために経営の基礎を作るなど大変頼もしい父です。また、温かい心で見守って頂いている地域の方々には感謝の気持ちで一杯です。

昨年、一昨年と椎葉村は台風災害により記録的な被害を受けました。多くの山々は崩壊し自然の恐ろしさを実感しました。自然は私たちに訴えています。それは山づくりです。昔の針葉樹に対する政府の誤った補助事業へのしっぺ返しが、今の災害につながったのではないのでしょうか。椎葉村の災害

や全国の災害が発生した所は、ほとんどが杉やヒノキ山です。管理をせずに放棄された杉・ヒノキ山には下草が生えておらず、全く地力がない状態です。これで集中豪雨ともなれば、山が崩壊するのは当たり前のことです。

最低でも40年近くは育てなければならぬ杉・ヒノキであるのに、後継者がいないのでクヌギを植えていても利用価値がない...ならば杉を植えよう!という考えの人もいます。いったいその後誰が管理するのでしょうか。

このような誤った考え方が、大災害につながるんだということに改めて思い知らされました。地域の人々が安全に暮らせる山づくりが自分の今後の課題だと思います。

また、私は今小学生のソフトボールの指導をしています。今までにほとんど小学生とふれあう機会がなかったため、どうやって接していいかわからないのか、とまどいもありましたが、皆指導に付いてきてくれます。辛くても笑顔で練習をこなしてくる子どもたちを見ると元気が湧いてきて、満足感を味わえます。

今、私たちは子どもの心を一番理解できる年頃であり、大人の社会や、政治の動きを見ることが出来る立場だと思います。近年、よく耳にすることは、「政治が乱れたら、犯罪が増える」ということです。

テレビ報道では、若者の殺人事件の増加や、マナーの悪さ・ルール無視ばかりで、テレビの映像には若者の行動の異変ばかりです。政治が乱れることによつて景気は乱れ、家庭では、親は仕事に追われ、子どもの面倒は見きれなくなり、子どもはいいように行動し、後に自己中心的な考えを持つようになるのです。こうして世の中の動きは崩れてしまいます。子どもに対して大人が恐怖心を抱き、また叱ることも出来ず、子どもの犯罪はこれから益々増えてしまうと思えます。そのような社会になってしまったのは、子どもの責任はもちろん、

大人に問題があると考えられます。政治に対して無関心、あるいは不信感を抱いている国民が多いのが現状ではないでしょうか。自己中心的な考えで、国際的な問題を起こす政治家もおり、政治不信につながっていることは確かだと思います。

私たちは有権者となりました。有権者としての責任、そして義務を果たすべく、前向きな気持ちで政治に関心を持ち、選挙へ積極的に参加していく必要があります。

私はまだ選挙に参加したことはありません。騒々しく、演説で激しくアピールをし、握手や手を振つての応援...幼い頃から不思議に思っていました。選挙権が与えられた今、何も分らない私が本当に政治に参加していいのか、不安な思いもあります。難しく、理解できない面もあるかもしれませんが、頂いた権利は自分の理想社会を目指すための手段として、また大きな組織である日本の一人として、一票を投じていきたいと思えます。

私は時に、まだ自覚が足らずに取ってしまった自分の行動に、腹立ちささを感じることもあります。これからは言動と行動に責任を持ち、少しずつ前進していきたいと思えます。

平成19年 椎葉村消防出初式

1月6日、椎葉小グラウンドで平成19年椎葉村消防出初式が行われました。まず開会式で新入団員18人に対し辞令交付を行った後、一般操練（通常点検・小隊訓練）や小型ポンプによる一斉放水などを実施。厳しい寒さの中、村民の生命や財産を守るための訓練の成果を披露しました。

また、閉会式では16人の退団者に対して感謝状を贈ったほか、消防団活動の功労者や各部の優良団員を表彰しました。

一般操練審査結果

優勝 本部（上椎葉）
第2位 第7部（大河内）
第3位 第11部（尾前）



消防出初式表彰関係

■宮崎県知事表彰

（6部）椎葉敏藏、（10部）甲斐左右吉

■県協会長表彰功績章

（2部）那須重美、（11部）尾前政文

■県協会長表彰精績章

（本部）椎葉隆文、（2部）那須和男、

（3部）荒竹和久、（6部）那須秀徳、

（10部）甲斐末吉・甲斐靖彦

■県協会長・村長特別表彰（親子団員）

（10部）甲斐孝光・甲斐裕一郎

■県協会長・村長特別表彰（兄弟団員）

（6部）椎葉博志・椎葉幸治・椎葉 聡

■県協会長特別表彰（内助の功）

（中園騰本部長夫人）中園津奈子様

（椎葉一第5部長夫人）椎葉浪子様

■日向支部長表彰（団員）

（本部）椎葉鉄次、（1部）那須輝美・

那須 浩、（3部）那須鶴義・甲斐浩利、



（5部）那須今朝夫、（6部）椎葉武仁、

（7部）右田健二、（11部）尾前賢了、

尾前浩幸、（12部）甲斐信一

■村長表彰

（本部）椎葉聖哉、（3部）原田 篤・

那須孝寛、（4部）黒木 賢・椎葉

洋一郎、（6部）那須貴文、（7部）

椎葉隆博・椎葉孝文・甲斐吉一、

（10部）椎葉敬志・甲斐雅規、（11部）

尾前徳彦・尾前雄次郎

■村長特別表彰（小型ポンプの部）

（本部）鈴木康弘・椎葉記史・椎葉

聖哉・椎葉智成、（5部）甲斐洋敬・

中瀬秀樹・中瀬育生・椎葉康吉

■村長特別表彰（積載車の部）

（11部）尾前広史・尾前充秀・尾前

雄次郎・尾前一成

■村長特別表彰

（県ラップフェスティバル出場）

村消防団ラッパ隊

■村長感謝状（退団者）

（本部）中園 騰・中瀬浩視、（1部）

那須 優・那須輝美、（2部）山中

秀則、（3部）甲斐浩利・椎葉 功、

（5部）椎葉邦夫・那須今朝夫、（6部）

椎葉武仁、（7部）中竹義人・右田

唯幸、（8部）黒木 貴、（10部）蔵

座孝見、（11部）尾前政文、（12部）

椎葉輝喜

■消防団長表彰

（本部）椎葉智成、（2部）桑原 崇・

椎葉一志、（3部）椎葉豊和、（4部）

尾前保博、（7部）梅北実利・岩崎

一道、（10部）椎葉基晴・椎葉公之、

（11部）尾前智一・尾川奉行、（12部）

中竹健次・那須裕樹・安藤勝一郎

■消防団長特別表彰（ラッパ隊員精績章）

（11部）尾前義文

■新入団者

（本部）田上一記・椎葉勝利・椎葉

茂雄・西 真次郎・甲斐顕正、（1部）

甲斐直巳、（2部）椎葉 隆・椎葉

圭太・甲斐 誠、（3部）河口友昭、

（5部）中瀬広樹、（6部）椎葉 聡、

（10部）甲斐裕一郎・椎葉竜也・椎

葉龍磨・椎葉公之・椎葉真丈、（12部）

椎葉裕二

■日本消防協会精績章

（5部）椎葉 一

■日本消防協会勤続章（30年以上）

（10部）甲斐左右吉、（7部）椎葉真

吾・右田朝生

新知事に東国原英夫氏

ひがしこく ばる ひで お

宮崎県知事選挙の結果について

1月21日、第17回宮崎県知事選挙の開票が実施されました。村内11投票所では午前7時から午後6時（一部午後4時）まで投票が行われ、午後8時に村開発センターで開票が始まり、午後9時に確定。結果、そのまんま東氏（本名＝東国原英夫）が初当選しました。なお、県全体及び本村の投票結果については次のとおりです。



投票結果

当日有権者数 932,127人（椎葉村3,048人）
 投票者 604,496人（椎葉村2,453人）
 投票率 64.85%（椎葉村80.48%）

※椎葉村での投票者内訳

（投票所…1,531人 期日前…907人 不在者…15人）

開票結果

当選	そのまんま東	266,807票	（椎葉村 303票）
	川村 秀三郎	195,124票	（椎葉村 1,958票）
	持長 哲志	120,825票	（椎葉村 130票）
	津島 忠勝	14,358票	（椎葉村 24票）
	武田 信弘	3,574票	（椎葉村 16票）
			※無効票 22票

村教育委員に再任

尾前 秀久氏

（尾前下）

12月20日、役場村長室で教育委員の辞令交付式が行われました。同委員には尾前秀久氏（51歳）が再任され、12月定例議会において同意されました。同氏の任期は平成22年12月までの4年間。また、引き続き教育委員長としても本村教育行政にご尽力いただきます。現在、同氏のほか那須一昭氏（十根川）、椎葉政明氏（本郷）、鹿瀬アヤ子氏（春岩尾）が教育委員を務めています。

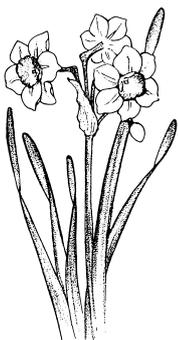


人権擁護委員に再任

古川 アヤ子氏

（尾田山中）

このほど古川アヤ子氏（64歳）が本村の人権擁護委員として再任されました。任期は平成19年1月から3年間。今後、同委員の甲斐昭利氏（旧岩屋戸）、椎葉吉人氏（向山日添）とともに本村の人権に関する意識高揚を図りながら人権問題に対する相談員としてもご尽力いただきます。



椎葉村職員の給与などを公表します

椎葉村職員の給与などの状況を知っていただくため、平成18年4月現在における概要を公表します。
(ただし、一般会計の職員給与について掲載したもので、特別会計の職員の給与は含まれておりません)

1 人件費の状況（普通会計決算）

年度	住民基本台帳人口 (4月1日現在)	歳出額(A) 千円	実質収支 千円	人件費 (B)千円	人件費率 (B)/(A)	(参考) 16年度の人件費率
17年度決算	3,637人	8,327,371	69,728	870,772	10.46%	15.18%

(注) 一般会計における当初予算の歳出額・人件費には、一般職員や非常勤の特別職・常勤の特別職などに支給される報酬・共済費・各種手当なども含まれています。

2 一般職員の給与費の状況（一般会計）

(単位：千円)

区分	職員数A (4月1日現在)	給与費				一人あたり 給与費B/A
		給料総額	職員手当	期末勤勉手当	総計B	
18年度当初予算	98人	354,834	38,884	141,492	535,210	5,461

(注) 職員手当には退職手当を含まない。給与費は当初予算に計上された額である。

3 職員の平均給料月額および平均年齢の状況

(単位：円)

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
椎葉村	285,300	38.5	317,400	46.3

4 職員の初任給の状況

(単位：円)

区分	椎葉村の初任給		国の初任給
	大学卒	短大卒	
一般行政職	大学卒	159,700	本村と同じ
	短大卒	148,000	
	高校卒	138,400	

5 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

(単位：円)

区分	学歴	経験年数		
		10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満
一般行政職	大学卒	256,600	351,400	351,400
	高校卒	222,300	274,100	310,100
技能労務職	高校卒	224,600	276,800	316,100

6 一般会計における一般職員の級別職員数の状況

(単位：人)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務内容	主事補 主事 技師補 技師	主任主事 主任技師	係長 主査	課長補佐 主幹	課長	課長	
職員数	6	17	51	12	8	1	95

(注) 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する職名です。

7 職員手当の状況

区分	椎葉村				国
期末勤勉手当	期末手当		計		本村と同じ
	6月期	1.4月	0.725月	2.125月	
	12月期	1.6月	0.725月	2.325月	
扶養手当	・配偶者 13,000円 ・扶養親族 2人目まで 1人につき 6,000円、3人目から 5,000円 (配偶者がいない場合 1人のみ 11,000円、扶養親族でない配偶者を有する場合 1人目 6,500円)				本村と同じ
住居手当	借家借間で家賃を支払っている職員 自宅の新築・購入の場合 5年間 最高 27,000円 2,500円				
通勤手当	片道の通勤距離が 2km 以上の職員 通勤距離に応じて 3,400円～ 19,500円				

時間外勤務手当	平成16年度	支給総額	4,820千円	職員1人当たり支給年額	43,818円
	平成17年度	支給総額	6,236千円	職員1人当たり支給年額	61,743円
特殊勤務手当 (対全職員)	主な手当の名称		手当種類	支給対象職員の割合(対全職員)	支給対象職員の平均支給月額
	医師、看護師、村税事務、 運転業務等に従事する手当		12	21.70%	30千円

椎葉晃充 村長の



1月の動き

- 4日 仕事始式、成人式
(役場、開発センター)
- 5日 庁議 (役場)
- 6日 消防出初式(椎小グラウンド)
- 10日 賀詞交歓会 (開発センター)
緑資源造林推進役員会
(宮崎市)
- 12日 県町村会理事会 (宮崎市)
- 19日 郡町村会臨時総会 (日向市)
県町村会役員会 (宮崎市)
- 22日 後期高齢者医療準備委員会
(宮崎市)
- 23日 平成19年度当初予算査定
(～29日)
- 24日 国民保護協議会 (役場)
- 29日 入札 (役場)
- 31日 全国町村会定例総会(東京都)



▲点検長を務めた村消防出初式
(6日)

8 部門別職員数の状況 (全会計、除く特別職)

(単位：人)

部局		年度	区分	H18.4.1	H17.4.1
村長部局	総務課	係数		5	5
		職員数		10	11
	企画観光課	係数		4	4
		職員数		8	8
	税務住民課	係数		6	6
		職員数		11	11
	福祉保健課	係数		4	4
		職員数		18	19
	農林振興課	係数		5	5
		職員数		11	13
	建設課	係数		6	6
		職員数		10	12
	出納室	係数		1	1
		職員数		2	2
村立病院	係数		2	2	
	職員数		28	30	
教育委員会			係数	5	5
			職員数	28	29
議会事務局			係数	1	1
			職員数	2	2
農業委員会			係数	1	1
			職員数	1	1
選挙管理委員会			係数		
			職員数	兼 1	兼 1
監査委員事務局			係数		
			職員数	兼 1	兼 1
合計			係数	40	40
			職員数	129	138

※職員の条例定数は150人です。

9 特別職の報酬等の状況

区分		給料月額等
給料	村長	719,000円
	助役	580,000円
	収入役	廃止
報酬	議長	293,000円
	副議長	220,000円
	議員	203,000円
期末手当	村長 助役 収入役 議長 副議長 議員	6月期 1.6月分 12月期 1.75月分 計 3.35月分 (加算措置あり)

(注) 特別職には勤勉手当は支給されません。

平成18年度

日本赤十字社表彰

日本赤十字社は九州八県大会、宮崎県社会福祉大会において、本村で社会福祉活動に貢献された次の方を表彰。1月11日、役場で椎葉征雄助役から伝達されました。

■金色有功賞(高額社費50万円達成)

(株)川上建設(大河内)

■銀色有功賞(高額社費20万円達成)

(株)相生組(鹿野遊)

(有)鈴木組(上椎葉)

■共同募金60周年記念特別表彰

(奉仕功労)

黒木 八重子(上椎葉)

■宮崎県ボランティア功労者表彰

(団体)

春日流 寿豊会

▼表彰された村内建設業社3社の

代表者。



▶

左から 黒木八重子さん、寿豊会の椎葉ヤスノさん。

平寿園
コデイサービズ
だより

多くの村民の方々にご利用されている平寿園デイサービスの最近の活動状況について報告します。このほど椎葉テルヨさん(上椎葉上2)の指導のもと、利用者の方々全員で書き初めを行いました。

筆を持つのも久し振りで「手が震える、手が痛い」など納得のいく字が書けないと言われていましたが、指導者も感心されるほど筆運びもよく立派な作品が出来ました。次の作品は、今年2月に百歳を迎える松岡サンの作品です。一生懸命に筆を動かして書いていただきました。



ルールとマナーを守って楽しい釣りを!



ヤマメ釣り
解禁 3月1日

3月1日から椎葉村でヤマメ釣りが解禁となります。椎葉村漁業協同組合では、「きれいな河川で楽しい魚釣り」を目指していますので、皆さんもルールとマナーを守って椎葉での釣りを大いに楽しんでください。

■ヤマメの遊漁期間 平成19年3月1日～平成19年9月30日

■遊漁料金 釣りをする人は、遊漁料金が定められています。

○耳川水系・一ツ瀬川水系 年券3000円・日券1000円

■遊漁に際し守るべき事項

遊漁者は、遊漁をする場合には遊漁証(腕章)を必ず携帯し、漁場監視員の監視を受けた時には提示してください。なお、遊漁証は村内の遊漁指定販売店でお求めください。

■問い合わせ先

椎葉村漁業協同組合事務局

(椎葉村役場 農林振興課内)

☎098216713206

平成19年村内指定禁漁区

河川名	禁漁区域
向山川	・向山倉ノ迫谷全面 ・尾手納春山谷全面
不土野川	・大岩屋谷全面 ・中尾谷日当集落より上流
尾八重川	・折尾谷の村道より上流 ・一ツ戸谷全面
桑ノ木原川	・春ノ平谷道路より上流全面
大河内川	・九州大学演習林内全面(合戦原谷より上流全面)
矢立川	・大越谷の橋より上流全面禁漁
小崎川	・葛原橋より上流全面禁漁 ・小崎谷の神社より上流全面禁漁
春ノ平谷	・上椎葉簡易上水場取水口より上流域全面禁漁



はぐくむ

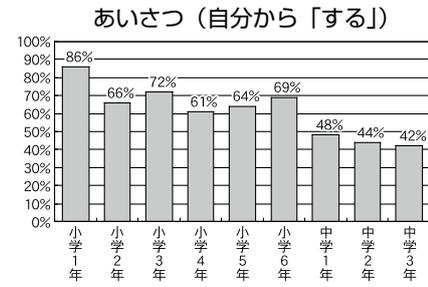
④

椎葉村小中学校校長会

子どもたちのあいさつは

先月号までは、学習や読書についてお知らせしましたが、今回は生活習慣の中でも、とても大事にしていきたい「あいさつ」について、考えてみたいと思います。

椎葉村内の子ども達に実施したあいさつについてのアンケートの結果（左図）によると、全体的にあいさつはできていますが、学年が上がるにつれて自分からはあいさつをしない傾向がみられます。しかし、保護者のアンケート結果によると、このような傾向は見られず、評価も子どもより低



くなっています。なぜなのでしょう。子ども達もあいさつをしていても、大人には伝わっていないのかもしれないかもしれません。

心の通うあいさつを

私達が日頃行っているあいさつには、

①お互いの心を開く潤滑油の役割がある。

②お互いが知り合うきっかけになる。

③元気でさわやかなあいさつは、相手に元気を与える。

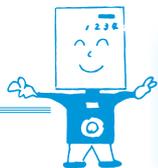
④あいさつの様子や声の調子、大きさと心や体の調子を知ることができる。

など、いろいろな効用があります。本村では11月に生徒指導部が中心になって全小中学校であいさつ運動を行いました。先日の小中学校の研究会では、あいさつが形だけになっているのではないかと指摘がありました。相手をよく見て真心のこもったさわやかなあいさつを心がけ、心の通うあいさつを目指していきたいと思います。

思いますので、地域の皆様から子ども達に声をかけて頂くなど、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



▲朝のあいさつ運動（松尾小）



広報しいば・やまびこ通信 モニター協議会だより



神楽を盛り上げた子どもたち

12月2〜3日、峰越の館で向山日添神楽が行われました。年に一度の祭りであつて地元住民はほとんど集まり神楽を楽しみましたが、県外からもたくさんお客さんが来て、会場は座りきれないぐらいの大盛況。勇壮な神楽の舞にお酒も入り、御神屋周辺はもの凄い熱気でした。

しかし、一番盛り上がったのは地元の幼児が可愛く舞を披露した「子ども神楽」。大人の見よう見まねで舞う姿に、会場全体が笑顔と歓声に包まれました。大きくなってこの向山に帰ってきて、いつまでも神楽を受け継いでいってほしいなと思いました。

（尾向地区モニター委員
椎葉キク子）



「やまびこ通信」のチャンネルについて

オフトーク「やまびこ通信」のチャンネルについてご案内します。役場からのお知らせのほか、チャンネル切替ボタンを押すことによって、ラジオも聴くことができますのでぜひご利用ください。

「IC H」 通常放送

（毎週月〜土曜、6時30分・12時30分・19時30分）

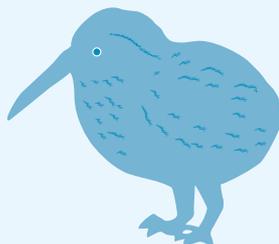
「2CH」 MRTラジオ（AM93.6）

「3CH」 NHKラジオ（FM88.2）

■問い合わせ先 村企画観光課（☎671-3203）



Kiaora



■椎葉村外国語指導助手

Anna Dwyer

アナ ドウワヤー
(ニュージーランド出身)

I hope everyone had a safe and happy New Years holiday.
Have a wonderful year everyone and see you all out and about.
This year I spent the winter vacation in the vicinity of Higashiusuki gun.

It wasn't as cold I as I had expected and very quiet and relaxing, which was nice.

This years Christmas season in Shiiba was full of variety. Aside from the real Santa that came on Xmas eve, an assortment of Santa's came in all shapes and sizes. One very cute Santa was Shiiba Chugakkous Kyoto sensei as the 'singing-santa'. His guest appearance during the last week of classes' stunned students. Moriyama Santa even sang an English Christmas song! Mrs Kawano Sensei, Matsuo Chu's J.T.E (Japanese teacher of English) and myself dressed up as Mr. and Mrs. Santa, also to the surprise of students. There were even a couple of American 'guest' Santa's that appeared as giant 'human climbing' Santa's, for the end of year Eikaiwa Xmas party. Photos taken by an Adult Eikaiwa student will be on display at the next few Eikaiwa classes.



すべての人がお正月休みを健やかで幸せに迎えた事と思います。

皆さんにとって今年もよき年でありますように、そしてまた椎葉のどこかで会いましょう。

今年、私は冬期休暇を東臼杵郡の近辺で過ごしました。今年は私が思っていた程寒くなく、静かで落ち着く非常に素晴らしい休暇でした。

今年、椎葉のクリスマスシーズンは変化に富んだものとなりました。

クリスマスイブに来た本物のサンタはともかく、太ったサンタやスリムなサンタなど、いろんな形やサイズを取り揃えたサンタたちがやってきました。

その中の一人、椎葉中学校の教頭先生は「歌うサンタ」としてとってもかわいかったです。彼のサンタは衝撃的で、週の終わりの授業中ずっと生徒は沸き立っていました。

森山サンタも英語のクリスマスソングを歌うサンタでした。松尾中学校で英語を教えているカワノ先生と私は男と女のサンタに着替え、これもまた生徒を驚かせました。

さらに二人のアメリカ人サンタのゲストは巨大な「ジャンボサンタ」として年末の英会話クリスマスパーティに現れました。大人の英会話教室の生徒によって撮影された写真を、次の英会話教室の授業のときに少し飾る予定です。

和訳：黒木睦美さん（梶尾出身）

椎葉の民話

89



「南川の兵主坊」

語り手 中瀬 守さん
(竹の枝尾)

昭和4年5月5日生まれ

昔、諸塚村の南川の百姓屋に兵主坊が現れた。で(1)、その百姓がのう、用をたしにいこうと、便所(べんじ)ししゃがみこんであったりゃあ、毎晩(まいばん)のよつに、菅壁(かやかべ)から兵主坊が、手をば(て)出して、しゃがんでる百姓の尻(しつぽ)をば、撫(な)でおつたよのう。そこで、家の者(もの)も、「今夜も出て来たが」「俺も尻をば撫(な)でられたばい」と評定(ひょうじやう)して(2)「おつたどたい。そつてその百姓屋(ひやくしやうゐ)でいばんなの大將(だいじやう)が」「いつも来て、尻(しつぽ)をば撫(な)で、悪戯(あくご)てやるたい」「ちゅつて、脇差(わきさし)を腰(こし)に差(さ)えて、頼包(たのづつ)み(4)をばして便所(べんじ)で、しゃがんでおつたとちゅつたい。そしたりゃ、案(あん)の定(ぢやう)兵主坊(ひやくしやうぼう)が出て来てたい、菅壁(かやかべ)から手(て)を出(で)して、尻(しつぽ)をば撫(な)でようとしたどたい。しゃがんでおつた大將(だいじやう)は、「ちゅつしよし」「よし」と思(おも)つて、兵主坊(ひやくしやうぼう)の手首(てのくび)をば、しつかり掴(つか)つてのう、めんめん(5)の方に引き寄せ(よ)せてたい、脇差(わきさし)で兵主坊(ひやくしやうぼう)の片腕(かたうで)をば、うち落(お)ちて来た、

ちゅつたい。手をばうち落(お)ちて来た兵主坊(ひやくしやうぼう)は、「きゃあー」うちゅつ声をばあげてたい、逃げこくつた、ちゅつたい。そつしたとつかあ、まあ次の晩(まいばん)も、その兵主坊(ひやくしやうぼう)が、その百姓屋(ひやくしやうゐ)に出て来たちゅつたい。「昨夜(ゆうべ)から俺(おれ)が悪(わる)かつたなあ。どつか俺(おれ)の手(て)を、戻(もど)してくれんどつか」と泣(な)きじゃくるもんじやから、むぞつになつて(6)「戻(もど)えてもらつよう願(ねが)つたどたい。そつで」兵主坊(ひやくしやうぼう)の世界(せかい)には、五日(ごにち)の内(うち)返(かへ)してもらつて、元通り(もとどおり)に治(ち)せる骨接(こつせつ)ぎ薬(くすり)があるけん、どつぞ、戻(もど)してください」「ちゅつて願(ねが)つたちゅつたい。どころがのう、その百姓(ひやくしやう)の家の者(もの)は、「お前のよつな悪戯(あくご)する奴(やつ)い、誰(たれ)が戻(もど)えてやるもんか」「ちゅつて怒(おこ)つて、跳(は)ね返(かへ)した、ちゅつたい。そしたらのう、その兵主坊(ひやくしやうぼう)は、次の晩(まいばん)も、その次の晩(まいばん)も、また来てたい、同じ(おんなじ)よつに、むぞつになつて、泣(な)えて頼(たの)つたちゅつたい。そつて毎日(まいにち)日(ひ)い(7)来てたい、それが五日(ごにち)間(ま)続(つ)いて来て、頼(たの)みどしたでもが、どつとつ、兵主坊(ひやくしやうぼう)腕(うで)を戻(もど)せてもらつたあ出来(こ)んかつたちゅつたい。どころがのう、それからその家(いへ)に不思議(ふしぎ)なことが起(お)こつた、ちゅつたい。いちばん身体(こゝろ)の弱(よわ)え人が、急に熱(あつ)が出(で)始めた

り、鼻血(はなぢ)が出(で)たり、口(くち)から血(ち)を吐(つ)えたりして、うち死(し)んでしもつたちゅつたい。そして今度(こんど)あ、その次に身体(こゝろ)の弱(よわ)え人がまた同じ(おんなじ)よつに、そんな病氣(びやうき)に罹(か)つて、血(ち)を吐(つ)えて死(し)んでしもつた、ちゅつたい。そつして、次(つぎ)から次(つぎ)い、五人(ごにん)、家族(かぞ)の者(もの)あ皆(みな)死(し)んでしもつた。そつで、村中(むらぢゆう)の者(もの)は「ありゃあ、兵主坊(ひやくしやうぼう)の祟(たた)りじゃろう」「ちゅつて評定(ひょうじやう)したそつたい。
(聞き手 椎葉浪子
西南学院大 林 文香・吉田扶希子・
大部志保・森山苑子・宮本真子)

- (1) で|| それで
- (2) 評定して|| 話し合つて
- (3) 悪戯|| 悪いこと
- (4) 頼包み|| 頼被り
- (5) めんめんえ|| 自分
- (6) むぞつになつて|| 可哀想な様子で
- (7) 毎日(まいにち)日(ひ)い|| 毎日毎晩

(解説) 兵主坊は、河童のこと。中瀬守さんによると、三歳児(さんさいぢ)くらいの子で、小さいが力(ちから)はとも強いといつ。人間(にんげん)・馬(うま)を見たら悪戯(あくご)をしないと氣(き)のおさまらない奴(やつ)で、相撲(すもう)好き(すき)。鰻(うなぎ)のよつな肌触(みふ)りで色(いろ)は赤黒(あかぐろ)く、生臭(なまぐさ)い匂(にお)いがする。口(くち)には烏(くろ)のような嘴(くちばし)があり、頭(かぶ)には血(ち)があつて、その血(ち)に水氣(みづけ)が無く(な)くなると、腰(こし)抜け(ぬ)がして、何も出来(こ)なくなる。片方(かた)の腕(うで)を引(ひ)つ込(こ)めると、もう片方(かた)の腕(うで)は倍(ばい)伸び(のび)るといふ。便所(べんじ)は、落(お)ちし便(べん)所(じよ)だつた。全体(かゝり)の大き(おほ)さは今(いま)とは変(か)わらないうが、ドウシ(どうし)を出(で)て家屋(いえ)とは反対(はんたい)側(がは)にあり、菅壁(かやかべ)で、入口(いりぐち)には筵(むしろ)を下(くだ)げていた。便所(べんじ)の裏(うら)は農機具(のうきぐ)置き場(おきば)があることが多い。人糞(ひとくそ)はもちろんだ切(き)り肥料(ひやうり)だつた、といふ。この話は、諸塚村(もろづかむら)に伝(つた)わる河童(かづ)の手の話(はなし)だが、昔話(むかしばなし)・伝説(でんせつ)といふより、実話(じつばなし)か、噂(うわさ)。従(したが)つて話(はなし)の筋(すま)が現実(げんじつ)味(あじ)を帯(た)びていて、「評定(ひょうじやう)」されたことになつてゐる。伝説(でんせつ)としての典型(ていげん)型(がた)は、「河童石(かづいし)」「河童駒(かづこま)引き」である。河童(かづ)の悪戯(あくご)好き(すき)は中瀬(なかせ)さんのお話(はなし)通り(どおり)だが、福岡(ふくおか)県(けん)田川(たがわ)の某(たが)整形(けいせい)外科(げか)の「河童(かづ)の膏藥(かうやく)」の伝説(でんせつ)を例(れい)にとると、セクハラ好き(すき)の河童(かづ)がいて、お医者(いしや)の奥方(おくがた)がトイ(と)しに入るのを見(み)すまして、下(くだ)から手(て)を延(の)ばす。ところが、氣丈(きぢやう)な奥方(おくがた)は、懐剣(くわいけん)をスリ(すり)と抜(ぬ)いて、セクハラ河童(かづ)の手(て)を切(き)る。切(き)られた河童(かづ)は、それからいつもの毎日(まいにち)毎晩(まいばん)「返(かへ)してくれ」と頼(たの)みに来る。怒(おこ)ると、仲間(なかま)まで付き添(つきぞ)つて来て、謝(あやま)る。その数(かず)もだんだん増(ぞ)えてきた。可哀想(あはれな)になつた奥方(おくがた)が、「いつた、切(き)つた手(て)など、治療(ちりやう)の方法(はうほう)の無い(な)だろつに」「とつとつ」「いや有(あ)ります。河童(かづ)には、どつてもよく効(き)く秘伝(ひでん)の膏藥(かうやく)が有(あ)ります」とつとつ。そつて奥方(おくがた)は、河童(かづ)の手(て)を返(かへ)してやる代(しろ)わりに、河童(かづ)秘伝(ひでん)の膏藥(かうやく)の処方(かた)を教(し)わつた、といふ。河童(かづ)が便所(べんじ)に出(で)発(はつ)するの、農(のう)の神(かみ)の性格(せいかく)を持(も)つてゐるからで、抜(ぬ)けた手(て)が安易(やす)にくつ付(つ)いたり、伸(の)び縮(ぢ)みするの、案(あん)山(か)しからの発想(はつしやう)だろつ、といふ。

(西南学院大名誉教授 山中耕作)

カメラさんぽ



▲すべて手作業で出荷される椎葉の七草
(松岡伸一さん宅)。

全国に春の七草を出荷

1月初め、村内の園芸農家が毎年恒例となった春の七草(せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ)を出荷しました。冬場の空きハウスを利用するこの七草生産は無農薬で出荷するため、どの農家も暖冬の影響による虫の駆除などで例年以上にひと苦勞。また、七種類すべてのパック詰めも年末年始を返上して、家族総出の作業となりました。

今年は17農家から過去最高の7万4千パックが出荷され、1月7日には全国各地のスーパーに並びました。市場では安心安全で美味しい椎葉産が今年も大人気。生産農家ではようやく少し遅めのお正月を過ごしました。



▲恒例の鏡開きで始まった賀詞交歓会。

新春賀詞交歓会

1月10日、村開発センターで平成19年新春賀詞交歓会が行われました。この賀詞交歓会は村商工会(椎葉大和会長)が毎年主催しているもので、同会員のほか行政関係者、区長、各種団体の代表など村内各地から約90人が出席しました。

新年のあいさつや商工会長や村長らによる鏡割りの後、懇談会が行われ、出席者は各分野における今年の方針や抱負を語り合い、それぞれの協力のもとで本村の地域活性化を目指そうと決意を新たにしていました。



▲表彰状を受け取る松岡鍾総務課長。
5年、10年と事故死ゼロを続けていきましょう。

交通死亡事故ゼロで表彰

1月12日、役場で交通事故死ゼロ市町村表彰伝達式が行われました。これは、村内における交通事故死ゼロの期間が同日で1095日(3年)を迎えたことによるもので、県交通安全対策推進本部より模範的な自治体として表彰されました。

本村は2年連続の台風災害で道路状況が悪化したほか、大型車輛の通行量が大幅に増加。しかし、警察や交通安全協会を中心に座談会や街頭キャンペーンなど事故防止を目指した積極的な活動が行われ、村内外の皆さんの理解と協力により死亡事故ゼロを現在も継続させています。



▲9人の子どもたちが元気にモグラウチ(川ノ口)。

子どもたちが元気に「モグラウチ」

1月14日、椎葉村内の各集落で子どもたちによる伝統行事「モグラウチ」が行われました。これは毎年同日、子どもたちが各家々を訪ねて庭や田畑の地面を歌をうたいながら棒などで叩いて回る小正月行事。昔から受け継がれてきたこの行事には、田畑からモグラを追出すことと大地の霊を鎮め、収穫をより豊かにと願う意味が込められています。集落によっては、叩く棒がカズラや藁を編んだものであったり、歌の内容が違っていたりするなど地域性豊かな行事。子どもの数が減ったために出来なくなった集落もありますが、雪が解けずに残る厳しい寒さとなったこの日、子どもたちの元気な声が出た山々に響き渡っていました。

春夏秋冬 まるごと椎葉

小正月行事「メージョウ」飾り

1月14日、村内各集落の家々に「メージョウ（餅花）」が飾られました。これは昔から小正月に行われてきた伝統行事で、柳の枝に色とりどりの餅や雑穀を取り付け、家の柱や部屋などに飾り付けるといふものです。このメージョウには、昨年の収穫に対する感謝と今年の豊作や家内安全の願いが託されています。

集落によってはヒエやアワなどがつり下げられたり、コノミヤと呼ばれる棒が取り付けられたりとさまざま。1～2週間ほどで外されますが、見る・味わうと二つの楽しみがあります。農家の減少などに伴い家庭から消えつつある行事の一つですが、いつまでも残しておきたいものです。



▲色とりどりの餅が飾られた
清田幸子さん（向山日添）宅のメージョウ。

「おやこの食育教室」で健全な心と体を

1月17日、村保健センターで「おやこの食育教室」が行われ、上椎葉児童館の年長の子どもたち9人とその保護者が参加しました。同教室は国の「食育推進基本計画」のもと子どもの心と体、生活のリズムに大きな影響を与える食習慣（食育）を見直し、健康で健全な心身を育もうと村内各地で実施。保健師と本村の食生活改善推進員の指導や協力により、栄養バランスに優れた「デコレーション寿司」、「お吸い物」、「サツマイモきんとん」の3種類の料理を作りました。子どもたちは手洗いなどで清潔にした後、材料や道具の準備から始めて、切る、焼く、盛りつけ、食事、片付けまでの一通りを体験。食べ物と食べることの大切さを学びました。



▲楽しみながら「食育」について考えた
上椎葉児童館の子どもたち。

椎葉の山々が雪景色

1月21日、標高の高い村内の山々に積雪がありました。集落がある麓では雨でしたが、1000mを超える所では午後から雪に変わり、あっという間に5～10cm程積もりました。普段は見慣れた山々も雪化粧すると別世界。大河内と小崎を結ぶ国道265号、飯干峠付近では4WDやチェーンを装着した車が通行していました。

今年の冬は暖冬と言われていますが、確かに現時点まで交通や生活に大きな影響を与える積雪がありません。寒さがピークを迎えるこの2月が過ぎると、もうすぐ春です。



▲飯干峠から望む雪化粧した山々。

椎葉路を駆け抜けた「とびがち大会」

1月28日、上椎葉バイパスで「第16回とびがち大会」が開催されました。この大会は、自然豊かな椎葉路を走りながら健康増進と交流を深めることを目的に椎葉村青年団連絡協議会（中瀬秀樹会長 会員46人）が主催。村内の小中学生、青年会員など150人が参加しました。

沿道に駆け付けたたくさんの応援団のもと、子どもたちが1000m～2500mの距離を各学年男女別で競い合ったほか、5区間をつなぐ駅伝の部では青年団や中学生、PTAチームなど7チームが出場。寒い中でしたが、全員が元気に最後まで走り抜きました。



▲7小学校、2中学校の子どもたちが
元気に走り抜きました。

習会を受講していただきます)

■報酬 椎葉村の定める報酬を支給

■受付期間 平成19年2月13日～平成19年3月31日

■選考方法 随時面接

■問い合わせ・受付先

保健センター「すこやか館」内
村福祉保健課 介護保険係
(☎68-7513)

平成19年度「県立高等学校日向地区生徒寮」入寮者募集について

県立高等学校日向地区生徒寮は、主として入郷方面等、交通不便な出身地区の生徒を収容し、健康で明るい生活を送らせ、本県へき地教育の進展を図ることを目的とし、平成18年度も次のとおり入寮者を募集します。

■募集人員

48人(男子26人・女子22人)

■入寮対象校 県立の富島高校・日向高校・日向工業高校・門川高校

■入寮資格

- ①平成19年度に県立高校(前記)への入学試験に合格した者及び在校生
- ②自宅からの通学が不可能な者
- ③自己管理能力、協調性及び忍耐力等を有し、健全な寮生活が送れる者

■出願手続

入寮希望者は、入寮順に必要な事項を記入の上、中学校へ提出する(高校生は在学する高校へ提出)

■寮費 現行月額29,100円(1日3回の食事を提供。ただし、月1回の閉寮日あり)

■寮の立地条件 敷地周辺は、田園に囲まれ東側に富高川が流れ、市街地から少し離れているため、騒音等に悩まされることもない静かな環境。また、本寮は平成11～13年の3カ年で全面改修・改築済。

■問い合わせ先

日向地区生徒寮
(☎52-2805)
管理校 県立富島高校
(☎52-2158)

「宮崎ねんりんピック2007」出場者募集

全国健康福祉祭の県選手選考会を兼ねた「宮崎ねんりんピック2007」が、次のとおり宮崎市などの会場で開催されます。そこで、60歳以上の県民を対象に21種目のスポーツ・文化の競技参加者を募集します。ぜひご参加ください。

■対象者

宮崎県内在住で60歳以上の方

■とき

平成19年5月20日(日)・21日(月)

■会場 宮崎市ほか(競技種目により異なります)

■競技種目 卓球・テニス・ソフトテニス・ソフトボール・ゲートボール・バタック・ターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフ・インディアカ・バウンドテニス・ミニバレーボール・ソフトバレーボール・ミニテニス・弓道・剣道・なぎなた・太極拳・四半的弓道・ボウリング・ゴルフ・囲碁・将棋

■申込期間 平成19年2月1日(木)～2月28日(水)

■問い合わせ・申込先

村福祉保健課 福祉係
(☎68-7513)
じゅぴあ財団
(☎0985-31-9630)



生涯学習フェスティバル

村民の皆さんが主役である第18回生涯学習フェスティバルが、次のとおり開催されます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

■日時

平成19年2月25日(日)9時開会

■場所 村開発センター

■内容 実践発表(長寿学園)、小中学生による意見発表、記念講演(講師 石橋敏郎氏)、体験学習(工芸・手芸)、作品展示、血管年齢測定ほか

■その他 事前に各組合長さんへ申込みされた方には、弁当を準備します。

■お問い合わせ先

村教育委員会
(☎67-2850)

映画『寒川』の上映会について

2月25日(日)の椎葉村生涯学習フェスティバルの開催に併せて、映画『寒川』を上映します。この映画は、廃村になった「寒川」(西都市)という集落を題材にしたドキュメンタリー。現在、全国的に進行している農山村の過疎化・高齢化問題、また自然環境問題など本村においても他人事とは思えない課題が、この映画から見えてくるかもしれません。皆さんぜひご鑑賞ください。

■期日 平成19年2月25日(日)

・開場 午後1時30分～
・上映 午後2時～

■場所 村開発センター

■料金(前売り券)

一般(18才以上) 1,000円
シニア(60才以上) 800円
※当日券は200円加算
小・中学生 入場無料

■主催 椎葉村青年団連絡協議会

■チケット購入・問い合わせ先

- ・村教育委員会
(☎67-2850)
- ・村青年団連絡協議会
中瀬
(☎090-3668-0139)
尾前
(☎080-5260-4423)
- ・各地区青年団



お知らせ

2月

- 椎葉村ホームページ
<http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp>
- 広報Eメールアドレス
tadataka@vill.shiiba.miyazaki.jp

村内の動き ● 1月1日現在

男	1,697人 (-2)
女	1,708人 (-2)
計	3,405人 (-4)
世帯数	1,279戸 (+4)

お知らせ

2月の納税について

2月は、固定資産税（4期）と国民健康保険税（9期）の納税月です。期限内（2月28日）までに納付していただきますようお願いいたします。また、その他公共料金等も納期内納付にご協力ください。

■問い合わせ先

村税務住民課
(☎67-3205)

行政相談の開催について

行政相談が次のとおり行われます。行政に関することならどんなことでもけっこうですので、気軽にご相談ください。

- 日時 3月13日(火)10時～15時
- 場所 椎葉村高齢者センター

福祉保健課からチャイルドシート購入助成について

村福祉保健課では、村内に居住する6歳未満の乳幼児のためにチャイルドシートを購入した場合、所定の申請を行えば補助金が交付されます。

補助金は購入価格の1/2で、

上限額が1万5千円となっています。なお、申請の際には領収書が必要ですのでご注意ください。

■申込・問い合わせ先

村福祉保健課 福祉係
(☎68-7513)

青年国際交流事業に参加しませんか

内閣府では、日本と外国の青年との交流を通して、相互の友好と理解を深め、広い国際的視野と国際協力の精神を身につけた次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を毎年実施しています。

■募集事業

- ①「国際青年育成交流」(8～9月)
- ②「日本・中国青年親善交流」(8～9月)
- ③「日本・韓国青年親善交流」(9月)
- ④「世界青年の船」(平成19年1～3月)
- ⑤「東南アジア青年の船」(10～12月)

■募集対象

18～30歳(H19年4月1日現在)で日本国籍を持つ方

■募集期間

2月5日(月)～3月30日(金)必着

■申込先

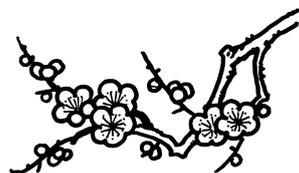
宮崎県青少年男女参画課

■申込書配布場所

県青少年男女参画課、市町村教育委員会、内閣府HP (<http://www.cao.go.jp/koryu/>) からダウンロードできます。

■問い合わせ先

- ・宮崎県青少年男女参画課
(☎0985-26-7041)
- ・椎葉村教育委員会
(☎67-2850)



所得税の確定申告をしなければならない方

次のような方は、確定申告をしなければなりません。

- ① 昨年中の所得の合計額から基礎控除、配偶者控除、扶養控除などの所得控除を差し引き、その金額を基として計算した税額が、配当控除額と定率減税額との合計額を超える方
- ② サラリーマンで、給与の年収が2千万円を超える方や、給与所得や退職所得以外の各種所得金額の合計額が20万円を超える方などです。平成18年分においては、定率減税（10パーセント、最高12万5千円）が実施されます。

■申告期間 平成18年分の贈与税の申告期間は、平成19年2月1日(木)から平成19年3月15日(木)まで、(土曜日、日曜日及び祝日を除く。)、個人事業者の方の消費税及び地方消費税の申告と納付の期限は、4月2日(月)です。

■問い合わせ先

延岡税務署 個人課税第1部門
(☎0982-32-3303)

募 集

介護相談員の募集について

椎葉村介護保険事業は、平成12年度よりサービスを開始し本日に至っております。この給付に伴って利用者の意見を聞き取り、中立的に平等な給付が受けられるよう、相談業務を実施するのが介護相談員です。現在は介護保険給付が始まって以来2人の相談員がその業務についておられますが、制度改正等で地域包括支援センターが設置されることから次のとおり介護相談員を募集します。

■募集人員 2人

■資格 高卒程度（現任者としばらく行動し、宮崎県の実施する講

「椎葉平家まつり」

2006

ビデオの販売について

昨年開催された「椎葉平家まつり2006」にいただきました村民をはじめ皆様のご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

さて、椎葉平家まつり実行委員会では3日間のまつりの様子を記録したビデオを作成しました。購入希望の方は次のとおりお申し込みください。

■内容

VHSテープ(120分収録)

■価格 2,000円

■申込先 村企画観光課

(☎098216713203)



日向東臼杵南部 圏域情報

「宇納間地藏尊大祭」

365段の長い石段を登り詰めた鉄城山山頂。ここに祀られている宇納間地藏尊は、「火伏せ地藏」とも呼ばれています。150年程昔、江戸市中に大火が発生したとき、当時の延岡藩主の誓願に因って鎮火させたと言継がれています。この地藏菩薩の開帳は6年に1度だけ。それにもかかわらず、旧暦1月24日を中心とする3日間は約2万人の参拝客で賑わいます。

■期日 平成19年3月12日～14日

■場所 美郷町北郷区

■問い合わせ先

美郷町北郷支所地域政策課

(☎6216201)



戸籍だより(12月分)

死亡

ご冥福をお祈りいたします

- 右田 秀男様(八十歳) 川ノ口
- 宮川 隆人様(七十八歳) 上椎葉下2
- 尾前アヤマ様(八十四歳) 鶴ノ平
- 松岡 マチ様(九十四歳) 下松尾
- 中村 房子様(五十六歳) 大藪

香典返し

故人の遺志を尊重し活用させていただきます

- 故 右田 秀男様(川ノ口)
- 故 宮川 隆人様(上椎葉下2)
- 故 尾前アヤマ様(鶴ノ平)
- 故 松岡 マチ様(下松尾)



3月の主な行事とお知らせ

- 1日 春の全国火災予防運動(～7日)
- 椎葉村消防団防火査察(村内各地)
- 6日 県立高校入試(～7日)
- 風疹予防接種(村立病院)
- 8日 2歳児歯科健診(すこやか館)
- 9日 思春期ふれあい体験学習(すこやか館)
- 中旬 3月定例議会
- 13日 MR・麻疹予防接種(村立病院)
- 16日 中学校卒業式(すこやか館)
- 17日 スポーツ少年団お別れ大会
- 20日 妊婦相談・乳児相談・乳児健診(すこやか館)
- BCG・ポリオ予防接種(すこやか館)
- 22日 児童館・保育所卒園式
- 23日 小学校卒業式
- 26日 小中学校修了式
- 27日 3種混合予防接種(村立病院)

しいば俳句会

選評・角 光雄先生（あじろ主宰）

《特選》

大杉が天をつき上ぐ初詣

那須 瑞穂

〔評〕 瑞穂さんが以前、神楽保存会の代表を務めていた十根川神社の大杉である。毎日見慣れている杉であるが、元旦は違う。一段と神々しく見える。瑞穂さんはこの杉から力をもらって二年間、仕事に励むのだ。

ふくよかな孫の微笑み春近し

山本 和枝

〔評〕 頬つぺたを軽くつついてやると、プルルンと弾む。そんな時、嬰兒はにっこりと微笑み返す。誰かに教えられたのでもないのに。頬つぺた―微笑み―日射し。誠に「春近し」である。

卒寿なる墨書の賀状いただきぬ

中瀬 汀

〔評〕 九十歳の方から墨痕鮮やかな年賀状が来た。今時ワープロ使用が多い中、卒寿の書筆とはめでたい。明るい一年が約束されたように、おし頂く。

《入選》

呑ん兵衛のひえつき節や年忘れ

小丸川河童

初御空大日輪の真くれなる

山茶 之美

粥の七草椎葉育ちの甘さある

黒木八重子

出初式律律しき所作に感動す

那須 正

七草粥美味しく思う齢かな

戸辺 好郎

山茶花の紅の花びらより崩れ

黒木タミ子

千年の初日を浴びて八村杉

小八重智津子

元旦やむかしは齢加わりし

椎葉シヅ子

それぞれに言葉を添えてお年玉

山本 和枝

咳一つおとして山路急ぎけり

山本 和枝

嫁が来て気持ちも和む松の内

山本 和枝

行く雲のかたち変えつつ日脚のふ

山本 和枝

俳句募集!! なたでも投句できます。毎月10日までに気軽に企画観光課へ

送ってください。(郵送・FAX可)

BOOK CORNER

直木賞受賞作品。6編からなる短編集。愛しぬくことも愛されぬくこともできなかった日々を、今日も思っている。大切な何かのために生きる人たちの6つの物語。



「風に舞いあがるビニールシート」 森 絵都 (文藝春秋)

読みやすさ、ユーモア、強烈な感動! リリーフランキーが骨身に沁みように綴る、母と子、父と子、友情。この普遍的なそして今、語りづらいたことがまっすぐリアルに胸に届く、新たな「国民的名作」。



「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」 リリー・フランキー (扶桑社)

お笑い芸人・劇団ひとり、衝撃の小説デビュー! 落ちこぼれたちの哀しいまでの純真を愛と笑いで包み込んだ珠玉の連作小説集。



「陰日向に咲く」 劇団ひとり (幻冬舎)

絵本作家ターシャ・ニューグーの「庭の写真」決定版。30万坪の敷地に咲き乱れる花々、ハーブガーデン、野菜畑、ヤギの放牧場、カヌーで移動する広い池、大木に覆われた森、30坪のワイルドフラワーガーデンなどを収録。



「ターシャの庭」 写真:リチャード・W・ブラウン 訳: 食野 雅子 (メディアファクトリー)

■ここで紹介した本は、村開発センター図書室で貸し出しています。(教育委員会 ☎67-2850)

「みんなの声」を

募集しています!

この「コーナー」では皆さんの椎葉への想い、「広報しいば」の感想などを募集しています。どんなことでも結構ですので気軽にお寄せください。なお、ペンネームやEメールでの投稿も受け付けます。
〒883-1600-1
宮崎県東臼杵郡椎葉村下福長1747-20
椎葉村企画観光課 「広報しいば」係
(FAX可) 0982-167-2882(5)

今月の表紙 Cover Message

1月28日、国道327号沿いの松尾地区春岩尾集落では梅の花が咲き始めました。これも暖冬の影響でしょうか。春の訪れを感じられる風景が村内各地で見つかりました。



編集後記

Editor's Comment

▼現職知事の逮捕をきっかけに、年末年始、何かと世間を騒がせた宮崎県知事選。元々レント、そのまんま東さんが新しい知事に選ばれました。本村の投票率は80%と県平均を上回りましたがそれでも約600人の方が棄権しました。▼今年は統一地方選挙の年。この知事選を皮切りに身近な選挙から国政選挙までたくさん行われる予定です。皆さんのため、そして椎葉村の発展のためにも棄権せずに皆さんの想いを投じてください。(正)

おすすめの一品

「しいたけ佃煮」



■生産者
桑の実会（桑ノ木原・会員13人）

■価格と内容

・1個 250円（100g）

椎葉産の椎茸（小粒どんこ）を特製の調味液で煮つめました。薄味に仕上げているので、そのままでも美味しくいただけますが、和風サラダやちらし寿司などに細かく切って散らしても美味しいです。

■問い合わせ・販売元

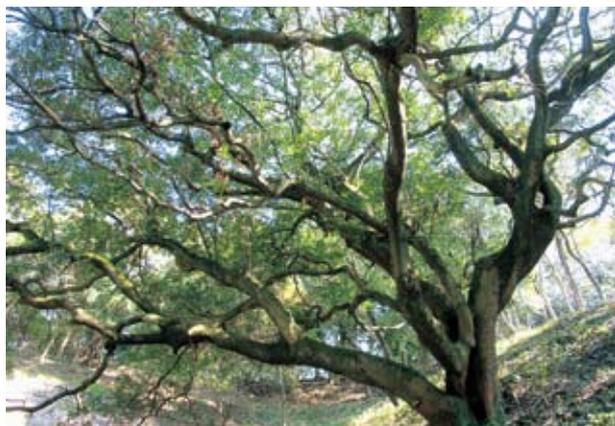
椎葉村物産センター「平家本陣」

TEL 0982-67-3139

FAX 0982-67-3144



クスノキ科タブノキ属の常緑高木で樹高20m、直径1m以上の巨木になります。椎葉村では標高800m以下の照葉樹林に生育し、本州以南と朝鮮南部に分布します。樹皮は淡灰褐色で平滑、細かい溝が縦に並びます。この樹皮には粘りがあり、お香や線香の基材になります。葉は互生で長さ約10cm、幅4-5cmで2cm程の葉柄がつき、表面がてらてら光った艶やかな濃緑色で、裏面はやや粉白色です。冬芽は楕円形で径約5mmと大きく、淡紅緑色を帯びるのが特徴です。雌雄同株で冬芽が開葉した5月頃、枝先に15-20個の黄緑色した両性花が咲きます。花後は緑色で径1cm程度の丸い果実が実り、やがて黒熟します。昔はこの若い果実に熱湯をかけて子どもたちのおやつやの代用としたそうです。木材は良質の散孔材で、特に心材が紅色のものを「ベニタブ」と呼び、床の間や廊下、雨戸、濡れ縁に賞用されました。
(九州大学宮崎演習林 内海 泰弘・井上 晋)



未来にはばだけ！



阿部賢治朗 ちゃん
(下屋敷団地)

平成17年2月19日生まれ
おとうさん：直人さん
おかあさん：淳子さん

いつも元気な賢ちゃん。雨にも負けず、風にも負けず、すくすく育ってね！



椎葉 なな ちゃん
(佐礼住宅)

平成17年2月7日生まれ
おとうさん：勝利さん
おかあさん：里恵子さん

椎葉に帰ってきて半年。椎葉の野菜が大好きです。元気で優しい女の子に育ってね！

Face in February

甲斐 悠さん (26歳：旧岩屋戸)

勤務先：村税務住民課 臨時職員
趣味：旅行・スノボ・工作類・園芸・ドライブ etc...

移住してきて早1年。村の方々はとても温かく、親切にさせていただいて日々感謝です。趣味でかごや雑貨小物などを作っては物産センターに置かせてもらっていますので、興味のある方はぜひ足を運んでみてください。今、臨時職員として役場に勤めていますので、気軽に声を掛けてください。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

